

令和3年秋期金沢南部地区推進連絡会意見交換要旨

- 1 日時
令和3年10月21日（木） 17:30～18:30
- 2 場所
金沢町町内会館
- 3 参加者

（地域側）自治会等地域団体関係	12名
学校関係（文庫小、金沢中）	4名
（支援チーム、その他行政側）	
区役所	6名
区社会福祉協議会、泥亀地域ケアプラザ	3名
- 4 意見交換要旨
 1. 開会挨拶（連合会長）

地区別計画の検討については、「コロナだから出来ない」ではなく、「コロナでも出来ることを考えよう」とこれまでやってきた。

計画検討のために実施したアンケートの結果を、第4期計画に十分反映させることが出来たと考えている。

やれていないことも地域全体でよいアイデアを出し合いながら、少しずつやれることから推進させたい。
 2. 第4期金沢区区計画素案の説明（区社協事務局次長）

【計画素案について概要版を用いて説明】
 3. 地区別計画策定の原案について（事務局長）

【アンケートをとるに至った経緯について説明】

104名の新旧地区社協理事から意見をうかがうことが出来た。

アンケートの結果では改めて、「地域の一部の担い手の頑張りイベントが成り立っていたが、それと同じくらい負担も大きくなっていった」ことがうかがえる内容だった。

地区別計画の中に“※”マークを付けている事業については、実施の可否や実施内容を含めてこれから検討を行う事業としている。
 4. 地区別計画の確定について（会計）

第3期は、第2期をおおむね踏襲する形で、ほぼ見直しを行なわなかった。コロナで1年以上地域の事業がストップしたため、事務局では、アンケ

ートの作成や分析など、地福計画とじっくり向き合えたと考えている。地域から意見や思いなどをうかがいたい。

(地域意見)

- 率直な感想としては、コンパクトによくまとまっていると感銘を受けた。オレオレ詐欺撲滅について、町会ごとにキャッチフレーズを考えてもらい、我が事として考えるきっかけづくりを行っている。このような活動が、計画にもあるように地域に浸透して欲しい。
- コロナで活動が思うように出来ない1年だった。これからは、with コロナで出来ることから少しずつ活動を前に進めていきたい。
- 見守り隊の活動にとっても支えられて子供たちが地域に育てられていると感じる。挨拶のできる子供たちに地域が育ててくれておりとても感謝している。
- 地域に育てられて中学生が育っている。目立つ（金沢中の）赤ジャージの中学生たちが「挨拶ができていますか」地域の皆様に見守っていただきたいと考えている。
- 公園のゴミのポイ捨てが無くならない。チラシを作成しただけでは改善されないようだ。良い知恵、アイデアを今後も皆で考えたい。
- 第4期には「健康で暮らせる地域」を目標に立てていただき感謝します。
“※”マークが付いている、健康づくり「なぎさ会」のバス旅行について保健活動推進員から出た意見を紹介したい。
「普段はあまり接点の多くない町会長と多く話す機会を持てて良かった。行けない場所に行くことができた。」
「1日ばかりになるので運営する負担としては大きい」
など、さまざまな意見が上がっている。
今後も委員の皆で検討を進めたい。

5. 閉会挨拶（連合副会長）

第4期目標が実現できることを願うと同時に、それ以上に願うのは、目標が地域に住むすべての人たちに、まず浸透することです。「これが課題」というものが、地域のみなさんに浸透することを願っています。